

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2000-23904(P2000-23904A)

【公開日】平成12年1月25日(2000.1.25)

【出願番号】特願平10-193091

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 1/00

G 0 2 B 23/24

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 0 0 P

G 0 2 B 23/24 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月4日(2005.7.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2つの金属製の外装部材の対向する開口部分を互いに嵌合するように連結して照明光学系及び対物光学系とを収納する先端部を形成した内視鏡において、一方の外装部材に設けた孔部と、他方の外装部材にスリット状溝或いは切り欠きによる帯状部に設けられた前記孔部に係合する凸部と、で連結固定する手段を形成したことを特徴とする内視鏡。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

【課題を解決するための手段】

本発明は、2つの金属製の外装部材の対向する開口部分を互いに嵌合するように連結して照明光学系及び対物光学系とを収納する先端部を形成した内視鏡において、一方の外装部材に設けた孔部と、他方の外装部材にスリット状溝或いは切り欠きによる帯状部に設けられた前記孔部に係合するピン等の凸部と、で連結固定する手段を形成することにより、2つの外装部材は凸部と孔部が係合することにより脱落の心配が無く、また肉厚の薄い構造で連結することができるため、十分な内径寸法を確保しつつ、外径を細くした先端部を実現する。